

まわりみち

2024 SEP NO.22

RABBIT, RABBIT,
WHAT DO YOU SEE HOPPING
AROUND?

塾長の活算数講座
南北朝道創才セミナー①

活ママの教えてください！
解法の扉の鍵を見つける問題

大人が読みふける児童文学
『プラム・クリークの土手で』
インガルス一家の物語

ちにならずながら、ローラにかける父さん母さんの言葉にも愛情を感じながら読みました。何でも自分たちで作るくらし。母さんが揚げるはちみつ色のヴァニティーケーキはとてもおいしそう。古いシャツや小さくなった子ども服は素敵なカーテンに生まれ変わります。ある日ローラとメアリーは母さんがためたボタンの箱をもらいました。そのボタンでキャリーへのクリスマスプレゼントを作る二人。ボタンのネックレスをもらって喜ぶキャリー。ローラとメアリーが下げておいた靴下には、夢ですが心が温かくなる素敵なクリスマスです。

一方で自然とのたたかいの厳しさは想像をはるかにこえます。順調に育った小麦は、収穫目前に襲来したイナゴの大群に食べつくされてしまいます。収入を閉ざされ、父さんは三百マイルも歩いて出稼ぎに行きます。父さんがいない間、家と家族を必死に守る母さん。連絡手段もない当時、届かない手紙を何日も待つ家族。父さんは幾度危険な目にあっても必ず家族のもとへ帰ってきます。強くてやさしい父さん。ドラマの父さん役マイケル・ランドンもとても素敵で、理想の父親と憧れたものでした。

（『プラム・クリークの土手で インガルス一家の物語3』ローラ・インガルス・ワイルダー作 恩地三保子訳 福音館書店 小学中級から）

児童文学愛好家 天野和子

まわりみち 松江算数活塾通信 9月号
2024年9月1日発行 vol.22(毎月1回発行)



発行・編集／松江算数活塾
〒690-0883 松江市北田町82-4
TEL 0852-67-8005 <https://katsujuku.net>

松江算数活塾ご案内



◀ <https://katsujuku.net>



◀ 算数・落語スケジュール



◀ Instagram

南北海道創才セミナー①



8月16～18日、北海道七飯町大沼国際セミナーハウスで開催された創才セミナーに行ってきました。現役教師時代からの念願が、今年やっと実現しました。

このセミナーの第一回は、平成18年、南北海道創才教育推進会により、数理科学振興会と算数オリピック委員会との共催で開催されました。「創才」とは、広中先生の教育哲学で、「自分の隠れた才能を発見し、創り、育て上げること」を意味しています。

第十七回を数える創才セミナーは期待以上のものでした。当塾顧問細水先生の「親子で楽しむ算数ゲーム」は、いっどこで見ても楽しいの

ですが、ここでの授業は情熱マックス、格別に見えました。

その理由は、まず理数教育を推進しているこうとする情熱のすごさです。会長は、公立はこだて未来大学の理事長兼学長の鈴木恵二先生です。この大学は、システム情報科学部のみの単科大学で、先生や学生さんからは理数最先端の香りがプンプンしていました。

もう一つは、このセミナーハウスのロケーションです。北緯42度にあります。これは、ハーバード大学のあるマサチューセッツ州ボストンと同緯度で、MITもあることを考えると、ノーベル賞受賞者を最も多く輩出している緯度帯と言えるそ

うです。もしかすると、このセミナーの受講者からノーベル賞受賞者が生まれるかもしれません。

細水先生は自校の四～六年生15名を連れて来ておられました。明星小MATHキャンプとして算数三昧のデラックスメニューです。平成14年から松江に迎えて研修会をしている者からすると、「どうして島根じゃないの?」と、ちよつとした嫉妬心を感じますが、夢を描くには、広中平祐先生、大沼国際セミナーハウス、南北海道創才教育推進会に敵いません。そんな素敵な場所でした。

(川上宜久)

大人が読みふける児童文学⑭

プラム・クリークの土手で —インガルス一家の物語—



NHKで放送されたアメリカの人気ドラマ「大草原の小さな家」のものになった物語です。作者はローラ・インガルス・ワイルダー。アメリカ開拓期に子ども時代を過ごし、自らの体験をもとに本を書きました。福音館から出ているこのシリーズはローラ五歳の『大きな森の小さな家』に始まり、『大草原の小さな家』、『プラム・クリークの土手で』、『シルバー・レイクの岸辺で』と続きます。3巻目にあたるこの本では、七歳になったローラが町の学校へ通うことになります。ドラマでよく見ている学校の様子やオルソン氏の店、意地悪でいけ好かないネリー・オルソンも登場し懐かしさ満載なので、今回はこの巻を紹介します。

ローラの家族は、父チャールズ、母キャロライン、姉メアリー、妹キャリー、そして犬のジャック。五人と一匹はよりよい場所を求めてあちこち移り住んだ後、ミネソタ州のプラム・クリークの土手にできた家に落ち着きます。町にも近いこの土地で新たな家を建て、畑を作ってくらしたいこうと希望に満ちています。それにしてもローラのおてんばぶりはきわだっています。父さんが積み上げたわらぶかをころがり落ちる遊びをしてばらばらにしてしまったり、好奇心で浸かったクリークで流されかけて、身体じゅう水浸しで家に帰ったり。やってみたいローラの気持